

2026年 北海道地区中学・高校ディベート選手権

<第31回ディベート甲子園 北海道地区予選>

大会要項

主催 全国教室ディベート連盟／全国教室ディベート連盟北海道支部

後援 読売新聞社

目的

ディベートの普及を通して、議論の文化を育むこと。

出場選手には本大会において、議論の技術を学び、公平・公正な議論を尊ぶ心を養うことを期待する。

開催期日・会場

2026年6月13日（土） 北海道科学大学（札幌市手稲区前田7条15丁目）

論題

【中学の部】

「日本は選挙の棄権に罰則を設けるべきである。是か非か」

- *公職選挙法で定めるすべての選挙を対象とする。
- *棄権とは、投票しないことであり、白紙投票は含まない。
- *1回の棄権につき過料1万円を課す。
- *病気等やむをえない理由による棄権は除く。
- *収入は選挙についての広報にあてる。

【高校の部】

「日本は富裕税を導入すべきである。是か非か」

- *ここでいう富裕税とは、日本に居住する個人が保有する純金融資産に対し毎年課税する国税とする。
- *課税の対象は純金融資産のうち3000万円を超える部分とし、税率は1パーセント以上とする。
- *税金の使いみちを特定しない税（普通税）とする。

参加資格・出場校数について

1) 参加資格

- 中学の部 北海道内の中学校（あるいは中学校に対応する中等教育学校、義務教育学校、特別支援学校の学年）に在籍する生徒
- 高校の部 北海道内の高等学校（あるいは高等学校に対応する高等専門学校、中等教育学校、特別支援学校の学年）に在籍する生徒
高等学校等への在学期間が原則として通算3年以内であること。なお、在学期間に休学期間は含まない。

※前項に定める学校に準ずる教育機関に所属する者で、大会への出場を希望する場合は、事前に主催者にその旨を申請し、認められた場合には出場資格を得ることができる。

※不明な点は事務局までお問い合わせください。

2) 出場校数 中学の部6校・高校の部8校まで

大会ルール

「全国中学・高校ディベート選手権ルール」（2022年2月20日改正）および「ディベート甲子園オンライン開催時のルールに関する通達」（2021年4月）による。

参照 <http://nade.jp/koshien/rules/> 必ず熟読、確認の上ご参加ください。

なお、立論グランプリ 2020 をふまえて「証拠資料の引用に関する注意喚起」（2021年3月版）が出版されています。大会への参加準備にあたってご確認下さい。

日程

2026年6月13日（土） 開会式 9:00 閉会式 18:00（参加校数により早まる可能性あり）

申込方法

グーグルフォームを用いて6月2日（火）18:00までにお願いします。

申込用のグーグルフォームはこちらです。 <https://forms.gle/1EiWQhzoVmNnVNqu6>

地区大会参加料

1チーム12,000円 6月2日（火）までに下記口座宛お振込みください

住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通預金 2267479 特定非営利活動法人全国教室ディベート連盟

※入金には必ず学校名義で行うようにしてください。

※領収書の宛名を申込時にご指定下さい。

対戦方法と順位の設定

中学校・高校の部門別にトーナメント戦あるいはリーグ戦を行い、第31回全国中学・高校ディベート選手権（ディベート甲子園）に出場する中学校1校および高校1校と、それぞれ優勝・準優勝各1チームを決定します。

チームと引率教師

- 1) 原則として、チームは同一校に在学する生徒4～6名で構成します。
試合出場は4名ですが、試合毎に交代することができます。
各試合では試合開始前に出場選手メンバー表を司会に提出します。
- 2) やむをえず4名以上の出場ができない場合、2名あるいは3名での大会登録を希望するチームは、大会登録時に事情を明記しなければなりません。主催者が認めた場合には、大会への出場が可能になります。2～3名チームで出場する際の試合運営上の規定については、「全国中学・高校ディベート選手権大会要綱」第6条に準じるものとします。
- 3) 同一校からの参加は1チームとします。
- 4) 試合には学校が認めた引率者が帯同するようにしてください。引率者は出場校の教師、あるいは学校が認めた成人とします。

その他

全国大会は8月8日（土）から8月10日（月）まで、千葉大学教育学部にて開催を予定しています。全国大会への出場については、出場校に別途ご案内します。なお、全国大会参加登録料として中学の部、高校の部ともに各学校20,000円をご負担いただく予定です。ご承知おきください。